

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター

～働きやすい環境づくりのために～

2024年12月



Vo.4

フリ

PTCAでつながる学校づくり（西里小学校の取組）

西里小学校では、家庭と学校だけでなく地域とともに子どもたちを育てようと、これまでのPTA（Parent-Teacher Association）活動にC（Community）を加えたPTCAで魅力的な取組を進められています。学校と地域が密接につながり合うことで、子どもたちはもちろんのこと教職員の働き方改革や地域の方々のボランティアの機会の提供と、よい影響をもたらしている事例を紹介します。

西里みまもり隊の活動

登校時は、西里みまもり隊の方が、子どもたちと一緒に学校まで歩いてこられます。また、校門前の道路横断のサポートもされているため、職員は登校時の交通指導等を行っていません。



西里みまもり隊の方からは、「楽しみでやっています」「学校の安心安全のためには、地域の力が必要だと思うので協力を続けていきます」との声が聞かれました。

公民館「学社連携事業」

西里小学校の教育活動には、公民館との連携事業を通して多くの地域の方々が関わられています。中でも、授業やクラブ活動の指導への地域人材の参画は伝統的に続いています。

公民館からは「公民館では、学校からの『こんな授業をしたい』という相談を受け、講師人材の派遣や場づくりを支援しています。どの学校でも西里小のようにどんどん公民館を活用してほしいです。」と熱いメッセージがありました。

保護者や地域の方など多くの人が学校に関わることで、教職員の負担軽減にもつながっています。

PTCA主催の地域連携活動



PTCAでは、子どもたちが参加できる様々な体験活動を企画実行されています。先日は、「西里バルーンフェスタ 2024」が行われました。毎月の空き缶回収で得られた収益金を活用し、地域参加型のイベントを実施されています。



西里小学校PTCA関係者へインタビュー

PTCA 活動を通して、まずは保護者が学校に行く機会を増やしたいです。一緒に何かに取り組むことで、保護者同士も親しくなり先生方とのつながりが深まります。保護者の皆さんが楽しんで活動に参加して下さることがありがたいです。

また、子どもたちにはたくさんの経験をしてもらいたいと思っています。地域の方々との交流を通して、豊かな体験の機会をつくっていきたいです。 **児玉 健一 会長**



右ノ子 隆博
校長

地域全体で子どもたちを育てようという意識の高い校区だと思えます。地域活動も盛んで、たくさんの行事があります。学校では、子どもたちや保護者の皆さんに紹介し情報発信をしています。

学校と家庭・地域が、子どもを中心につながりあっている素敵な教育環境の中にいて幸せです。



北部公民館
永山 健
社会教育主事

学校と地域をつなぐことが私の役割だと思っています。

また、私自身が学校に出向いて授業をさせていただくこともあります。学校と積極的に関わることで、子どもを通して保護者の方に公民館の学社連携の活動について知ってもらうこともでき、とても嬉しいです。

